

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール 5 「ジェンダー平等を実現しよう」

5 ジェンダー平等を実現しよう



「男性はこうあるべき、女性はこうあるべき」と、無意識に決めつけている違いを「ジェンダー」といいます。「外で働くのは男性、家のことをするのは女性」「男性は青、女性はピンク」などといった先入観

がジェンダーの不平等や差別を生んでいます。世界では、女性であるというだけで教育を受けられない、身体が大人になる前の10代で結婚・妊娠・出産する、人身売買

で売られてしまうなど、様々な差別を受けるケースがあります。実際に、世界には15歳未満で結婚した女性が約2億5,000万人いるなど、児童婚は大きな問題の一つです。日本でもジェンダー平等の課題は山積みで、男女の格差を比べた2021年の「ジェンダーギャップ指数」によると、日本は156カ国中120位で先進国では最低レベルです。ジェンダー平等の実現は、差別に苦しむ人々を救うことはもちろん、経済成長や貧困、教育などの課題解決にも繋がると言われており、早急な対応が求められています。

苅田町の取り組みは？

男女共同参画社会の実現を目指して

苅田町では、平成29年度に「第2次苅田町男女共同参画行動計画（後期）」を策定し、男女共同参画に関する施策の総合的・計画的な推進による男女共同参画社会の早期実現を目指しています（令和4年度に「第3次苅田町男女共同参画行動計画」を策定予定）。この計画の将来像として掲げている「わたしとあなたの生き方を認め合い、支え合い、未来につながるまち かんた」の言葉通り、様々な社会経済情勢の変化に対応し、活力ある地域づくりを行ううえで、男女共同参画社会の実現は必要不可欠です。その取り組みの一環として、町内の企業や団体等を対象に「男女共同参画出張講座」を実施しています。講師派遣に伴う費用（講師謝金・旅費）は町負担ですので、この機会に職場や団体研修で男女共同参画について考えてみませんか？詳しくは、QRコード（町ホームページ）または苅田町役場 総務課 人権・男女共同参画推進担当（☎093・434・1958）まで。



わたしたちにできることは？

日本のジェンダー平等の達成は世界から見てかなり遅れています。そのため、まずは個人レベルでの意識改革や家庭内・職場内等における役割分担について改めて見直すことが大切です。

- ジェンダー平等に関心を持ち、本やインターネットを活用し、理解する。
- 家庭内での家事分担、子育て等について話し合う。

みなさんのSDGs活動紹介

苅田町青少年育成町民会議



「SDGs学習会」を開催

苅田町青少年育成町民会議には、教育関係者や個人会員など約150名が在籍しており、健全育成講演会や親子ふれあい広場、人形劇公演など、様々な事業を通じて青少年の健全育成の推進を図っています。そして、町民会議の今後の事業計画を立てるうえで話題に上がったのがSDGsです。メディアでの露出も増え、世界のスタンダードとなったSDGsのことを知っておく必要があるのではとの考えから、町民会議では「SDGs学習会」を行いました。学習会には、役員を中心に15名が参加し、町民会議として何ができるのか、何をすべきかなど活発な意見交換も行われました。年明けには学習会の第2弾を計画中で、コロナの感染が収束すれば、会員に加え町民を対象に実施することも検討中です。来年以降の町民会議の取り組みに注目です。